

あーばんとーく

平成 11 年 7 月 号 (通巻 第 23 号)
 発行：財団法人 神戸市都市整備公社
 こうべまちづくりセンター
 〒650-0022
 神戸市中央区元町通 4 丁目 2 番 1 4 号
 電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546
 URL: http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp

神戸アスリートタウン(健康・スポーツ都市こうべ)

「山麓リボンの道」ガイドマップ 完成

～区役所・まちづくりセンターで7月21日から配布予定～



ガイドマップ

自然に恵まれた神戸。中でも六甲山の山すそから、垂水の海沿いまで、歴史を今に伝える様々なまちのスポットが点在しています。そんなまちのスポットをリボンで結ぶようにつないだ散歩道が「山麓リボンの道」。全長およそ45キロ、12の区間に分かれています。ルートのところどころには、御影石でできた道標が設置されています。夏休みなどを利用して、この山麓リボンの道を散歩してみませんか。

7月21日～10月17日に全行程を走破された方には、「山麓リボンの道」走破認定書をお渡しします。

詳しくは、こうべまちづくりセンターまで。

⑤北野・諏訪山のみち (中央区布引町～兵庫区楠谷町)

神戸の顔・異人館街を歩くこのコース。おしゃれで、魅力ある新しいまちのスポットも次々に生まれています。

①本山のみち (東灘区森北町～西岡本)

岡本梅林公園や水上勉の小説「桜守」のモデルになった笹部新太郎邸跡地の桜守公園など、春は特に、お勤めのコースです。

⑩平磯の波面 (垂水区塩屋町～川原町)

小高い丘の上にある井植記念館からは、周辺が一望できます。もちろん明石海峡大橋の眺めは抜群です。

④布引のみち (中央区神山寺通～布引町)

平安の時代から、貴人、歌人などが訪れた日本三大神滝の「布引の滝」がこの区間のハイライトです。



垂水から山麓リボンの道の西端の西舞子まで。途中、太古のロマンを感じる五色塚古墳、孫文ゆかりの移情閣があります。

⑫あわじのしまかげ (垂水区川原～西舞子)

烏原貯水池の周囲には、水と森の回遊路があり格好の散策路になっています。平清盛ゆかりの平野の温泉もこの区間にあります。汗をかいた後の一風呂はいかが。

⑥烏原へのみち (兵庫区楠谷町～長田区天神町)

須磨寺へと続くこのコース。山本周五郎作「須磨寺附近」にも附近の様子が描かれています。須磨離宮公園も、見る価値は充分。

⑧須磨のみち (長田区五位ノ池町～須磨区須磨寺町)

深田池公園周辺等、山手の閑静な住宅街を通るこのコースは、竹垣の小道などもあり雰囲気は格別です。

②六甲のやますそ (東灘区西岡本～灘区篠原北町)

第3期こうべ市民安全まちづくり大学 受講生募集のお知らせ

神戸市では、市民の皆さんが安全について学び、地域の安全まちづくりに生かしていくための場として、昨年度に引き続き、「こうべ市民安全まちづくり大学」を、神戸大学都市安全研究センター、こうべまちづくりセンターとの共催で開催します。

講座を修了した第1期生のうち50名、第2期生のうち58名、合計108名の方が市民安全推進員として登録されました。推進員の中には、現在地域において「安全で安心なコミュニティ活動」に取り組まれている方もいます。皆さんもぜひ、本校を受講して、この安全で安心なコミュニティづくりの輪の中に加わってください。

今年度は、次の2つの講座を開講します。(昨年度とほぼ同様です。)

①入門講座のプログラム(予定)

防災や防犯についての講演・まちづくり実践者による活動報告等により、専門的知識を習得する講座です。
(定員130名、無料)

◇日時：9月から3月の毎月第1木曜日 午後6時30分～8時45分。(全7回)

◇場所：神戸市教育会館(中央区中山手通4-10-5、TEL. 222-4111)

日程	講演テーマ・講師	実践報告など
1 9月2日 (木)	「神戸の土砂災害について」 沖村 孝 氏 (神戸大学都市安全研究センター教授)	《活動報告》
2 10月7日 (木)	「神戸で再び大地震は起こるのか？」 石橋 克彦 氏 (神戸大学都市安全研究センター教授)	○地域のまちづくりリーダー
3 11月4日 (木)	「いざという時に備えて～危機管理の心」 林 春男 氏 (京都大学防災研究所教授)	○まちづくりコンサルタント
4 12月2日 (木)	「安全・安心まちづくりの推進にむけて」 小出 治 氏 (東京大学工学部教授)	○防災福祉コミュニティのリーダー
5 1月6日 (木)	「ライフラインは大丈夫か？」 高田 至郎 氏 (神戸大学工学部教授)	《事例報告》
6 2月3日 (木)	「津波災害の恐ろしさ」 河田 恵昭 氏 (京都大学防災研究所教授)	○兵庫県警察本部 ～神戸における犯罪の傾向について～
7 3月2日 (木)	「安全で安心なコミュニティづくりを進めるために」 室崎 益輝 氏 (神戸大学都市安全研究センター教授)	○ライフライン事業者等

②まちづくり講座のプログラム(予定)

地域で住民の皆さんとともに楽しみながら安全なまちづくりを進めていくためのいろいろな手法を身につける、参加型の講座です。(定員50名、無料)

◇日時：9月から2月の毎月第3木曜日 午後6時30分～8時45分。(全6回)

◇場所：こうべまちづくりセンター(中央区元町通4-2-14、TEL. 361-4523)

日程	テーマ	内容
1 9月16日 (木)	地域の課題について考えてみよう	今、地域でどんなことが課題になっているか、皆が楽しく参加できるイベントは何か等、まちづくりに関する課題や関心を話し合います。
2 10月21日 (木)	コミュニティ安全マップをつくろう①	みんなで一緒にまちを歩けば、思いがけない発見があります。地域の危険や役立つ資源を探して、工夫を凝らした楽しいマップの作り方を考えます。(2回の講座の間に、実際にまちを歩いてみることも予定しています。)
3 11月18日 (木)	コミュニティ安全マップをつくろう②	
4 12月16日 (木)	地域での実践について考えてみよう	ここまでの講座内容を振り返り、地域での活用などについて話し合います。
5 1月20日 (木)	災害図上訓練を体験しよう	講座で作った安全マップを生かして、地図上で防災訓練をしてみましょ。
6 2月17日 (木)	コミュニティ安全計画を考えよう	これまで学んできたことを生かして、地域のみんなで作る安全計画を考えます。

両講座とも修了した人のうち希望者は、「市民安全推進員」として登録され、地域の安全まちづくりにご活躍いただきます。また、次年度に予定している、推進員対象の上級コースを受講いただくこともできます。受講を希望する方は、右の要領で、はがきでお申し込みください。7月30日(金)必着です。大勢の皆さんのご応募をお待ちしています。

■お問い合わせは、

神戸市 市民局 市民安全推進室 安全企画課

TEL. (078)322-6238

50
円

650-8570
神戸市 市民局
市民安全推進室安全企画課
加納町六丁目五十一
神戸市中央区

(おもて)

○住所
○氏名(ふりがなも)
○年齢
○性別
○電話番号
○職業
○希望講座
(両方とも申し込むこともできます。)

(うら)

「まちづくり」って何？

まえがき

アーバンデザイン室の中山氏の高尚な都市計画論を引き継いで、このシリーズまちづくり雑感を担当することになりました。中山氏のような理論に裏付けられたまちづくりの考察は到底困難ですが、中央区まちづくり推進課時代に住民の皆さんと、もがきながら得たまちづくりの成果と経験を基にまちづくりのあり方とは言えないまでも、「何か」について考えてみたい。

「まちづくり」この今はやりの便利の良い「やまとことば」が昔にはらんらんするようになって久しいが、いまだに衰えを見せない。兵庫県では、今年度から都市住宅部が、まちづくり部に名称変更され「まちづくり部まちづくり政策課まちづくり推進室」なる部署まで現れた。神戸市では、平成2年に笹山市政が誕生した際に、当時の「広報相談課」が「まちづくり推進課」に変わったのが最初である。当初は、市役所の事業部局の下請的なイメージがあったが、現在では、それぞれの区の個性を生かして住民ニーズに即した独自の事業が進められている。それに対し、都市計画局も平成8年度にアーバンデザイン室の中に「まちづくり支援係」をつくって区の独自事業をまさに支援するようになった。まちづくりセンターのスタートは、アーバンリゾートフェア '93が行われた平成5年であるが、当時笹山市長が「まちづくり支援センター」の名称にこだわっておられたのを思い出す。結局、支援に止まらずなちづくり全般に関わるということで、「まちづくりセンター」に落ち着いたのを思い出す。当時の議論を振り返ってみると私などは、区画整理事業の受託などで実績のある都市整備公社とどう異なるのか区別がつかなかった。今から思えば笹山市長のめざしていたものは事業主体としてのセンターではなく、まさに住民主体のまちづくりのサポーター役としての支援センターであったということが理解できる。

従って、これから述べるまちづくりをあえて定義すると「住民主体のまちづくり」ということになる。しかし、「住民参加のまちづくり」とはどう違うのか、はたまた「協働のまちづくり」あるいは「パートナーシップのまちづくり」という言葉が主流になってきているが、それらは「住民主体」や「住民参加」の発展型であるのか……。また、まちづくりの主体が住民にあるのであれば、公共信託に基づく行政責任はどう考えればいいのかなどの疑問が湧く。

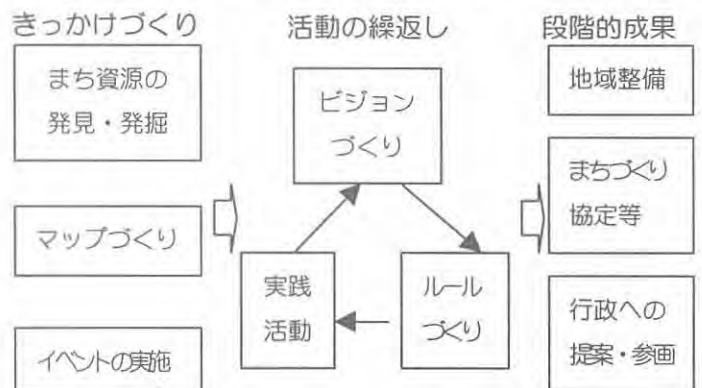
これら「まちづくり」に修飾される言葉はあまり明確に意識されては使われておらず、むしろその時々事業の性格や政策に応じて使い分けをされているような気がする。しかし、私の区役所時代の経験から言うと、これ

らの違いや意味を考えることは単に言葉の遊びではない。住民の皆さんとまちづくりを進める現場では、具体的に、どの様な立場、価値観で住民の意見を聞き、また働きかていくか、行政マンならずまちづくりマンとして実践していくうえで、最も大切な感性を養うことであると感じている。さらに「まちづくりとは人づくり」とよく言われるが、まちづくりの実体とは何かということも曖昧なことのひとつである。まちづくり推進課時代にこの便利な言葉を冠して頂いたお陰で広報・広聴、イベント、商業振興、文化・スポーツ、学校跡地利用、福祉など権限もないにもかかわらずあらゆる事業に参画できた。逆に言えば、どの部署にも属さない問題も住民ニーズがある限り最後の砦として対応しなければならぬのも事実である。イノシシ、タヌキ、サル、果てはコウモリまで…。神戸まつりのこともよく聞かれたが、「まちづくり」を「まつり」と理解している人も少なくない。地元の新年会などで宴会芸もよく披露した（せざるを得なかった）が、住民リーダーの方の「芸もまちづくりのうち」という言葉には妙に説得力があった。

以上、長々とまさに雑感にふさわしく、とりとめのない事を述べてきた。次回以降は、「まちづくりとは、何か」ということについて実践例を紹介することで、少しずつひも解いていきたい。少なくとも理論としては役立たないかも知れないが、まちづくりを進めるうえで、知っていて損にはならないノウハウを少しでも皆さんに提供できれば幸いである。

私が、区役所の仲間や住民の皆さんと一緒に進めてきた実践事例—「おばさまマップ」「葺合わがまち便利帳～新住民ウェルカム運動」「インフィオラータ神戸～西国街道まちづくり」「生田川再整備への提案」「北野工房のまち・学校跡地利用」等々これらの中にまちづくりのヒントが隠されている。

私が考えている、まちづくりのプロセスは以下のとおりであるが、今後の議論の参考にさせていただきたい。



（前中央区まちづくり推進課長・現教育委員会社会教育部体育保険課長 見通孝）

親子で歩こう！Retro KOBE

— 親子でこうべの魅力再発見 —

参加者募集中

夏休み最後の思い出に、神戸居留地返還 100 周年を記念して、
家族で旧居留地の魅力を見つけましょう。

参加御希望の方は、往復はがきで 7月26日（当日消印有効）までに
小学生（学年を書いてください）を含む親子3名（2名も可）一組で

〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目2-14

こうべまちづくりセンター まで

往復はがきでお申し込みください。応募者が30組を超えたときは、抽選します。
返信用にも、住所・氏名を忘れずに書いてください。

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
7月1日(木)～6日(火)	第14回 日本画 柏樹会展	左野 柏樹
7月15日(木)～20日(火)	第4回 PPA 写真展	PPA職業写真家組合
7月29日(木)～8月3日(火)	第3回 青い種子展	川端 祥之

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

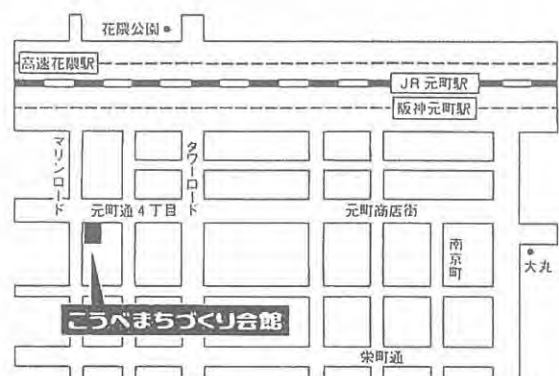
7月1日(木)～31日(土)	神戸の河川展	神戸市建設局下水道河川部
7月11日(日) 午後2時・3時	ペチュニアサロンコンサート	演奏 がい ストリック カテット

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
（こうべまちづくり会館 3F）
電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584
受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 祝日・土・日曜は
まちづくり相談コーナー で受け付けます
（こうべまちづくり会館 4F）
時間は、午前10時～午後5時

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター（まちづくり会館 4F）
会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など
受付は、午前10時～午後6時
電話 078-361-4565



〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話 078-361-4523

FAX 078-361-4546